

成果報告書

(公演・展覧会・研修用)

団体名称	一般社団法人 日本劇作家協会
担当者連絡先	(担当部署) 事務局 (氏 名) 勢藤典彦 (電 話) 03-5373-6923 (F a x) 03-5364-9205

1. 概 要

事業名	《契約件名》	戯曲セミナー講義の映像化、シミュレーション、および名作戯曲のリーディングアーカイブ化
事業期間	令和 3年 1月 29日 ~ 令和 3年 3月 31日 <small>* 契約日から、事後の整理期間まで含んだ期間を記載。</small>	
事業の必要性	事業の目標・検証方法など	<p>オンライン形式の講義も対応可能になることにより、会場に集う形式だと躊躇してしまう受講希望者が安心して受講できるようになることと、東京近郊のみならず全国からも受講可能となるため、受講生と収入の一定の確保が見込める。また、地方在住者が気軽に受講できるようになり、各地域の劇作家の育成と地域の芸術文化の大いなる活性化に繋がる効果が見込める。</p> <p>受講生と収入の確保については、受講申込者の実数によって検証可能である。 また地方在住者の申し込み状況については、申込者から収集する住所の情報によって検証することが可能である。 「安心」「気軽」といったアクセスのしやすさについては、客観的な検証は難しいが、受講申込時にそれらの項目に関するアンケートを実施することにより、ある程度の把握は可能であると思われる。</p> <p><small>* 報道や客観的データをもとに記載</small></p>
	本事業実施にあたって活かせる団体の強み	<p>①当協会が2001年度から19年にわたり、毎年、東京・杉並区の座・高円寺などを主会場として延べ800人以上が受講してきた「戯曲セミナー」の実績があること。 ②日本劇作家協会が国内における唯一の劇作家の職能団体であるため、経験豊富で様々なジャンルの全国の劇作家を講師などにそろえられること。 ③過去の戯曲執筆指導の講義の膨大な音声記録があること。 ④「月いちリーディング」や「リーディングフェスタ」など、リーディング(オンラインを含む)を実施する実績があること</p> <p><small>* 強みとして有している資源(情報、能力、経験、信頼、文化など)を記載</small></p>
事業のねらい、波及効果など (事業の趣旨)	<p>戯曲セミナーで行った講義のうち、定評のあるものをセレクトし、映像化して、オンライン上で視聴できるようにすることにより、会場で行うよりより多くの方が受講できるようにする。また、アーカイブとして所蔵することで、貴重な資料として後世に残す。従来の対面形式でのセミナー開催が困難な場合を想定したオンライン授業のシミュレーションを行い、今後のコロナ禍の中で、オンライン上で「戯曲セミナー」を開催していく参考材料とする。最後に読み物としての戯曲のみならず、俳優の声や表情を通した上演台本としての「生きた」戯曲の魅力を伝えるために名作戯曲のリーディングを撮影し、その映像をアーカイブ化して、「戯曲セミナー」やその他の講義やワークショップの教材として活用する。将来的に大学などで利用するeラーニングへの提供も考える。</p> <p><small>* 本事業で目指すこと、試みること(目的・ねらい)を記載。定性的なねらいや波及効果に加え、できる限り定量的な目標値も記載</small></p>	

2. 公演・展覧会・研修について

公演・展覧会・研修名	戯曲セミナー講義の映像化
公演・展示・研修期間	令和 3年 2月 25日 ~ 令和 3年 3月 16日 公演のみ記載→《ステージ数》 ステージ
実施場所	ポケットスクエア ホップステップstudio (所在市町村：東京都中野区) 江原河畔劇場(平田オリザ講義収録のみ) (所在市町村：兵庫県豊岡市) (所在市町村：) (所在市町村：) (所在市町村：) (所在市町村：) (所在市町村：) *不足する場合は、行を追加すること
公演・展示・研修概要	これまでに当協会が開催した「戯曲セミナー」の中から、定評のある講義を映像化し、アーカイブ化した。また、講師に「戯曲を書きはじめたきっかけ」など、劇作家を目指す視聴者の今後の活動の参考になるようにインタビューも行い、講義映像に加えた。 <ul style="list-style-type: none"> ・鴻上尚史講義 講義テーマ：劇作家になるため、いい作品を書くため、重要なこと /映像時間： 1時間 17分 ・瀬戸山美咲講義 講義テーマ：取材からつくる演劇 /映像時間： 1時間 14分 ・土田英生講義 講義テーマ：台詞について /映像時間： 1時間 8分 ・成井豊講義 講義テーマ： 私の脚本の書き方 /映像時間： 1時間 5分 ・マキノノゾミ講義 講義テーマ： 発想の順番 /映像時間： 1時間 13分 ・横内謙介講義 講義テーマ： 「ストーリー」と「プロット」 /映像時間： 1時間 19分 ・渡辺えり講義 講義テーマ： 演劇は生きる力 /映像時間： 1時間 19分 ・平田オリザ講義 講義テーマ： コンテキストとはなにか /映像時間： 45分 <ul style="list-style-type: none"> ／講義テーマ： 演劇は対話を必要とする /映像時間： 47分 ／講義テーマ： 対話を生む出すために /映像時間： 44分 ／講義テーマ： 登場人物・プロット・エピソード /映像時間： 44分 ／講義テーマ： 現代口語演劇が求めるもの /映像時間： 51分 *公演・展示・研修概要、上演作品のあらすじ等を記載。
主な出演者	講師：鴻上尚史、瀬戸山美咲、土田英生、成井豊、マキノノゾミ、横内謙介、渡辺えり、平田オリザ
展示作家	事業統括・インタビュアー 丸尾聡 監修 鈴木聡 美術 加藤ちか(王様美術)
講師	映像統括 吉田康一 映像モチーフデザイン 奥秋圭 音楽制作 山口紘 撮影・編集 吉田雅人、米田浩章、(有)アゴラ企画 制作 松本悠、土居麻衣
スタッフ	編集 ハセガワアユム、福嶋康平、鮎田直也、大野創、加藤真史、加藤唯、河井朗、杉本奈月、美崎理恵、みよんふあ、戸塚慧太、梅咲ミヤビ、古川貴義、江花実里、寛田しずく、勝谷涼子、小橋川亜希、小山貴司、斉藤沙紀、佐藤みつよ、空風ナギ、藤本貴行 計 43 名
実施にあたって協力機関・団体	なし *共催者等の具体的な役割を記載。

* 本用紙は、1契約の内容が「1. 新進〇〇育成公演(計6公演)、2. 〇〇研修(3メニュー 各10回)」のように複数の事業を含む場合には、新進〇〇育成公演、〇〇研修ごとに作成すること。なお、新進〇〇育成公演(計6公演)の場合、本用紙の中で公演毎に①～⑥に分けて記載すること。

2. 公演・展覧会・研修について

公演・展覧会・研修名	戯曲セミナー講義の映像化（レジェンドセミナー）
公演・展示・研修期間	令和 3年 2月 1日 ～ 令和 3年 3月 26日 公演のみ記載→《ステージ数》 ステージ
実施場所	日本劇作家協会事務局など （所在市町村：東京都杉並区） （所在市町村： ） （所在市町村： ） （所在市町村： ） （所在市町村： ） （所在市町村： ） （所在市町村： ） （所在市町村： ） *不足する場合は、行を追加すること
公演・展示・研修概要	井上ひさし、別役実の過去全ての「戯曲セミナー」講義を音声記録をデジタルデータ化し、それを元に講義内容を再構成し、資料などをまじえながら、各約1時間×2本の映像に編集した。 ・井上ひさし講義〈前編〉 講義テーマ：実践篇 ／映像時間 1時間 7分 ・井上ひさし講義〈後編〉 講義テーマ：状況篇 ／映像時間 時間 59分 ・別役実講義〈前編〉 講義テーマ：コントを書く ／映像時間 1時間 9分 ・別役実講義〈後編〉 講義テーマ：モノを書くための精神のあり方 ／映像時間 時間 58分 *公演・展示・研修概要、上演作品のあらすじ等を記載。
主な出演者	【井上ひさし講義】 構成 小川未玲／構成・映像監修 丸尾聡／映像統括 吉田康一／編集 米田浩章 映像モチーフデザイン 奥秋圭／音楽制作 山口紘／制作 松本悠、土居麻衣 編集 美崎理恵、みよんふあ、大野創、加藤真史、加藤唯、河井朗、杉本奈月、江花実里、覚田しずく、勝谷涼子、小橋川亜希、小山貴司、斉藤沙紀、佐藤みつよ、空風ナギ、藤本貴行 音声使用許諾 井上ユリ（井上事務所）
展示作家	【別役実講義】 構成 檜原拓／構成・映像監修 丸尾聡／映像統括 吉田康一／イラスト べつやくれい／編集 古川貴義 映像モチーフデザイン 奥秋圭／音楽制作 山口紘／制作 松本悠、土居麻衣 編集 ハセガワアユム、福嶋康平、鮎田直也、大野創、加藤真史、加藤唯、河井朗、杉本奈月、美崎理恵、みよんふあ、戸塚慧太、梅咲ミヤビ、古川貴義、江花実里、覚田しずく、勝谷涼子、小橋川亜希、小山貴司、斉藤沙紀、佐藤みつよ、空風ナギ、藤本貴行
講師	
スタッフ	計 36 名
実施にあたって協力機関・団体	なし *共催者等の具体的な役割を記載。

* 本用紙は、1契約の内容が「1. 新進〇〇育成公演（計6公演）、2. 〇〇研修（3メニュー 各10回）」のように複数の事業を含む場合には、新進〇〇育成公演、〇〇研修ごとに作成すること。なお、新進〇〇育成公演（計6公演）の場合、本用紙の中で公演毎に①～⑥に分けて記載すること。

2. 公演・展覧会・研修について

公演・展覧会・研修名	戯曲セミナー講義の新たな形のシミュレーションと研究
公演・展示・研修期間	令和 3年 2月 22日 ~ 令和 3年 3月 15日 公演のみ記載→《ステージ数》 ステージ
実施場所	オンライン(シミュレーション1) (所在市町村:) ポケットスクエア ホップステップstudio(シミュレーション2) (所在市町村: 東京都中野区) (所在市町村:) (所在市町村:) (所在市町村:) (所在市町村:) (所在市町村:) *不足する場合は、行を追加すること
公演・展示・研修概要	「戯曲セミナー」のオンライン運営を目指し、オンライン形式のシミュレーションを行う。(2件) 【シミュレーション1】 講師、受講生ともZoomで参加 【シミュレーション2】 講師はスタジオよりライブ配信を行い、受講生はZoomで参加 いずれもオンラインで行われる際の講義内容、講義方法、質疑応答等の相互コミュニケーションの技術の可能性を探り、実施結果を元にレポートを作成し、オンライン形式、対面形式を問わず新たな講義方法についての研究会も行った。さらに、シミュレーションの映像と音声のアーカイブ化もした。 *公演・展示・研修概要、上演作品のあらすじ等を記載。
主な出演者 ・ 展示作家 ・ 講師 ・ スタッフ	【シミュレーション1】 講師 中屋敷法仁／ゲスト 小野寺邦彦／担当委員：中屋敷法仁 高山さなえ／事業統括・監修 丸尾聡 映像統括 吉田康一／映像モチーフデザイン 奥秋圭／音楽制作 山口紘／撮影・編集 吉田雅人、米田浩章 制作 松本悠、土居麻衣 【シミュレーション2】 講師 土田英生／担当委員：中屋敷法仁 高山さなえ／事業統括・監修 丸尾聡 映像統括 吉田康一／映像モチーフデザイン 奥秋圭／音楽制作 山口紘／撮影・編集 吉田雅人、米田浩章 制作 松本悠、土居麻衣 計 12 名
実施にあたって協力機関・団体	なし *共催者等の具体的な役割を記載。

* 本用紙は、1契約の内容が「1. 新進〇〇育成公演(計6公演)、2. 〇〇研修(3メニュー 各10回)」のように複数の事業を含む場合には、新進〇〇育成公演、〇〇研修ごとに作成すること。なお、新進〇〇育成公演(計6公演)の場合、本用紙の中で公演毎に①~⑥に分けて記載すること。

2. 公演・展覧会・研修について

公演・展覧会・研修名	名作戯曲のリーディングアーカイブ化
公演・展示・研修期間	令和 3年 2月 24日 ~ 令和 3年 3月 8日 公演のみ記載→《ステージ数》 ステージ
実施場所	舞台芸術公園 BOXシアター(『リチャード二世』) (所在市町村: 静岡県静岡市) ポケットスクエア ホップステップstudio(『紙風船』『トランス』) (所在市町村: 東京都中野区) オンライン(収録はZoom / 『にしむくさむらい』『DOLL』) (所在市町村:) <small>*不足する場合は、行を追加すること</small>
公演・展示・研修概要	俳優の声や表情を通した上演台本としての「生きた」戯曲の魅力を伝えるために名作戯曲のリーディングを撮影し、その映像をアーカイブ化して、「戯曲セミナー」やその他の講義やワークショップの教材として活用する。また、演出家にインタビューを行い戯曲の魅力などを紹介する。 ・『リチャード二世』映像時間 2時間 18分 ・『紙風船』映像時間 時間 40分 ・『にしむくさむらい』映像時間 1時間 54分 ・『DOLL』映像時間 2時間 24分 ・『トランス』映像時間 1時間 55分 <small>*公演・展示・研修概要、上演作品のあらすじ等を記載。</small>
主な出演者	『リチャード二世』 作 W.シェイクスピア/台本・演出 寺内亜矢子 出演 阿部一徳、吉植莊一郎、木内琴子、本多麻紀、大内智美、大高浩一、小長谷勝彦、牧山祐大、石井萌水、片岡佐知子、渡辺敬彦、宮城嶋遥、永井健二 スタッフ 山崎馨、森部璃音、林哲也、小早川洋也、水野ヒカル、村松厚志、永井健二、成島洋子 事業統括・インタビュアー 丸尾聡/進行 山田裕幸/映像モチーフデザイン 奥秋圭 映像統括 吉田康一/音楽制作 山口紘/撮影・編集 吉田雅人、米田浩章、橋本稔、勝谷涼子 編集 ハセガワアユム、福嶋康平、鮎田直也、大野創、加藤真史、加藤唯、河井朗、杉本奈月、美崎理恵、みよんふあ、戸塚慧太、梅咲ミヤビ 制作 本田けい、松本悠/著作権使用許諾 小田島恒志
展示作家	『紙風船』 作 岸田國士/演出 鐘下辰男 出演 新垣亘平、田村真帆、鐘下辰男 事業統括・インタビュアー 丸尾聡/進行 山田裕幸、サカイリユリカ 美術 加藤ちか/映像統括 吉田康一/映像モチーフデザイン 奥秋圭/音楽制作 山口紘/撮影編集 吉田雅人、米田浩章 ハセガワアユム、福嶋康平、鮎田直也、大野創、加藤真史、加藤唯、河井朗、杉本奈月、美崎理恵、みよんふあ、戸塚慧太、梅咲ミヤビ 制作 本田けい、松本悠
講師	『にしむくさむらい』 作 別役実/演出 関根信一 出演 酒井康行、板倉光隆、若林正、西田夏奈子、枝元萌、西村俊彦 事業統括・インタビュアー 丸尾聡/進行 山田裕幸、藤崎麻里/映像統括 吉田康一/映像モチーフデザイン 奥秋圭/音楽制作 山口紘 編集 ハセガワアユム、福嶋康平、鮎田直也、大野創、加藤真史、加藤唯、河井朗、杉本奈月、美崎理恵、みよんふあ、戸塚慧太、梅咲ミヤビ 制作 本田けい、松本悠/著作権使用許諾 (株)Pカンパニー
スタッフ	『トランス』 作・演出 鴻上尚史 出演 田村健太郎、小野川晶、渡辺芳博、鴻上尚史 事業統括・インタビュアー 丸尾聡/進行 山田裕幸、丸尾聡/美術 加藤ちか(王様美術)/映像統括 吉田康一 映像モチーフデザイン 奥秋圭//音楽制作 山口紘/撮影 吉田雅人、米田浩章 編集 ハセガワアユム、福嶋康平、鮎田直也、大野創、加藤真史、加藤唯、河井朗、杉本奈月、美崎理恵、みよんふあ、戸塚慧太、梅咲ミヤビ 計 63 名
実施にあたっての協力機関・団体等	なし <small>*共催者等の具体的な役割を記載。</small>

* 本用紙は、1契約の内容が「1. 新進〇〇育成公演(計6公演)、2. 〇〇研修(3メニュー 各10回)」のように複数の事業を含む場合には、新進〇〇育成公演、〇〇研修ごとに作成すること。なお、新進〇〇育成公演(計6公演)の場合、本用紙の中で公演毎に①~⑥に分けて記載すること。

3. 事業の成果

<p>事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鴻上尚史、瀬戸山美咲、土田英生、成井豊、マキノノゾミ、横内謙介、渡辺えり、平田オリザと第一線で活躍する劇作家の講義をアーカイブ化することにより、劇作家を目指す人の教材となるばかりでなく、日本演劇界の貴重な財産となるものを製作できた。 ・ 井上ひさし、別役実と日本を代表する劇作家の講義を再構成することにより、お二人の講義を受けることができなかった若い世代の劇作家、あるいは劇作家を目指す人に体験してもらうことができるようになった。 ・ シミュレーションを参考に、実際に戯曲指導の講義のオンライン開催ができた暁には、地方の方など今まで「戯曲セミナー」を受講することができなかった人たちにも受講の機会を生み出せるようになった。 ・ 名作戯曲を文字として読んだ時と、実際にプロの俳優が発語した時を比べる貴重な資料ができた。 <p><small>* 目的（ねらい）の達成状況（どのように達成できたか）を記載。また、育成者数について必ず記載すること。</small></p>
<p>事業における工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容をいくつかの項目に分け、途中でテーマを記載したスライドを差し込むことにより、講義の進行と内容をよりわかりやすくしている。 ・ 注釈をテロップとして入れているので、演劇の知識がない初心者でも気兼ねなく見られる。 ・ eラーニング用プラットフォームを使用し、再生速度の調整や巻き戻しなどが容易に行われる他、資料をダウンロードできるようにしている。 <p><small>* 「目的（ねらい）を達成するための要素」を実演するために工夫したことを記載。</small></p>
<p>事業の課題</p>	<p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演劇を専攻する大学や教育機関などへ教材として提供を検討する。 ・ オンライン化の技術を使い、特に地方に住む多くの劇作家を志す人たちに学びの場を提供したい。 <p><small>* 本事業を実施した結果として、実現できなかったこと等の課題を記載。</small></p>

■ 戯曲デジタルアーカイブについての説明
<http://www.jpwa.org/main/activity/playtextdigitalarchive>

■ 戯曲デジタルアーカイブ
<https://playtextdigitalarchive.com/>